

# 2017年春 IN 福岡県

## 九州隣県(佐賀・福岡・長崎・熊本)サッカー交流会報告

### 子ども達の成長

熊本県サッカー協会 キッズ委員会 委員長 武田昭二

九州隣県交流会参加の皆さん、グリーンピア八女での交流会はいかがでしたか？キッズエリート活動も10年を超え、新たな活動の展開(公募による参加)での第1期生(U10)が今回の交流会で活動を終えました。約1年半の活動で、友だち作りや感謝の気持ちを持つこと、よく考えて行動することなどサッカーが上手くなる以前の基本的なことを学びました。どこまでできたかな！皆さんに渡した「修了証」の中に書いてありますが、これからはチームのリーダーとなり、将来の夢の実現に向けて日々努力してください。今後ますますの成長、活躍を期待しています。



今回の遠征合宿団体行動にて各自何かを得たでしょうか各自サッカーについても生活面でも納得のいく2日間でしたか出発時に思い描いていた事が実行できましたか仲間とはどうでしたか、お互いをリスペクトし交流出来ましたか様々な場面でコーチの指導・指示が出ていたように思いますが大部分が、もっと各自が自分で考え自分で動く失敗を恐れず恥ずかしがらずにチャレンジすることが大切だと思います。みんないいものを持っていると思います、そのいいところ能力をドンドン前を出して立派な人間、立派なサッカー選手になることを期待しています。

キッズ委員会 副委員長 山下純朗



今回、プレー面では活動当初に比べ、顔が上がったり、味方との関係性を意識できたりと成長しています。トレーニングで積み上げてきた動きながらのプレーの重要性を理解し、質の向上を意識してプレーに繋げてください。観る、考える、判断ができるようになると、プレーの幅、選択肢が広がっていくことでしょう。パスの正確性やキックの種類(質)は今後の課題です。生活面においてはサッカーというより人間としての成長が求められます。礼儀、挨拶、責任ある行動です。気づきや積極性は普段からの生活態度にでてきます。自分の生活態度を見直し、改善してほしいです。やるかやらないかは“あなた次第です”頑張りましょう。最後に、保護者の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。これからもお子様の『ベストサポーター』として良き理解者として見守っていただきたいと思っています。本当にありがとうございました。

U-10 ヘッドコーチ 稲田将吾



U-9のメンバーも今年度二度目の隣県交流会で笑顔が多く見られました。今回は、ミーティングを通じて挨拶・荷物の整理整頓などピッチ以外のサッカー選手として、大切な部分を伝えながら選手と一緒に取り組みました。最初は出来なかった選手たちも意識が変われば出来るようになりました。これを継続する事が大切であり、それぞれの所属チームに戻ってからリーダーとして隣県交流会で学んだ事を伝えて言って欲しいと思っています。参加して頂いた皆さんありがとうございました。

U-9 ヘッドコーチ 辰巳禎一



今回隣県交流に参加して感じたことは、子供達が多く支援者に支えられサッカーに集中出来る環境が作られている事でした。挨拶、掃除、道具の管理など日常的にでき、自立出来るよう今後とも子供達を見守りたいと思います。最後に子供達は支援者に対し感謝の気持ち「笑顔」を全面に出し目標に向かって充実した日々を過ごしてもらいたいです。

U-10 アシスタントコーチ 小原英雄



隣県交流会を通して、食事の際に栄養バランスを考えて盛り付けができる選手、時間を意識し「今何をすべきか」を仲間に伝える選手の姿が印象的でした。ピッチの中ではステップワークを工夫する選手が多くみられました。バックステップをふむことや、ボールに2,3歩寄ることで相手から離れてゴールを目指すプレーが増えてきましたね。今回学んだことをチームでも是非チャレンジしていきましょう。

U-9 アシスタントコーチ 曳地大輔

交流会の夕食、朝食、昼食を見ていると子ども達の食べる量の不足を感じました。スポーツをしている子ども達は、①日常生活のエネルギー、②成長のエネルギー、③スポーツのエネルギーの3つのエネルギーが必要です。通常の子どもよりもエネルギーを必要としています。まずは、エネルギーを不足なくとるために食事の量を増やしてください。

## オン・ザ・ピッチ&オフ・ザ・ピッチ 2月25日(土)



出発式@運動公園



出発式@カベッサ熊本  
一泊二日の交流会に向けて、保護者に出発の挨拶。



福岡に到着  
保護者が作ってくれたお弁当を食べました。2月にしては過ごしやすい気候の中、外で食べることになりました。



開会式

福岡 37 名、佐賀 44 名、長崎 24 名、熊本 42 名、約 150 名の子どもたちが集合しました。



W-UP

福岡 FA スタッフの指導のもと、様々な動きやゲームに挑戦しました。



交流試合

チームは、毎試合、学年ごとに自分たちで集まって作りました。同じ県で 2 名まで。たくさんの仲間と交流できましたか？



夕食

運動の後には、栄養をとります。まずは量を食べられるように、なんでも食べましょう。



ミーティング

学年ごとに別れてミーティングを行いました。U-10 は、事前にコーチより出された課題にグループごとに取り組み、発表しました。U-9 は、コーチから映像などを見せてもらい、一人ひとり話をしました。

## オン・ザ・ピッチ&オフ・ザ・ピッチ 2月26日(日)



**ミーティング:U-10 発表**  
各グループで、まとめた意見を発表しました。一人ひとり何かの役割を担当しました。



**終了式**  
U-10 は今回の交流会が最後の活動でした。武田キッズ委員長より修了証を受け取りました。修了証に書いてある言葉をぜひ読んでください。



**朝の散歩・体操**  
寝癖をつけたままの子どもたちも多かったです。朝からしっかりと準備できるようになりましょう。部屋の使い方や用具の管理など、日常とは少し違う経験と失敗がありました。



**朝食**  
今回はバイキング形式、コーチよりバランスのいい食事の見本と注意点を指導しました。バランス良く取れましたか？普段の食生活から、しっかりと食べられるようにしていきましょう。



**交流試合**  
各県カテゴリーごとに試合を行いました。最高の天然芝で、たくさんの試合を経験できました。サッカーを続けていけば、ここで出会った選手たちと、またいつかプレーする機会があるでしょう。



**閉会式・片付け**  
二日間の隣県交流会が終わりました。様々な体験があったと思います。今回の経験を今後の活動の糧にしてください。



**解散式**  
新U-10は3月より定期トレーニングがスタートします。次回の交流会は、8月末または9月上旬を予定しております。

# 蹴夢

## 基本の徹底



「身体の向きを理解しなくてはならない。それは育成年代から学んでおくべき」

アルベルト・ザッケローニ監督

「世界的選手は、シンプルにプレーできる。誰にでもできることを正確に速くできる。特別な技術を持っているわけではない。」

元日本代表 GK 榎崎正剛



## これからの活動

**M**ove (ムーブ) 動き関わり続ける  
**O**rganize (オーガナイズ) 自立  
**C**reative (クリエイティブ) 創造性  
**C**hallenge (チャレンジ) 果敢に(あきらめない)  
**O**pen mind (オープンマインド) 向上心・学ぶ姿勢  
**S**mile (スマイル) 笑顔

### 熊本 FA 育成ビジョン

#### 「MOCCOS フットボーラーの育成」

2014年熊本FA技術委員会にて育成ビジョンを決定しました。

\*詳細は熊本FAホームページからご覧いただけます

#### 【U-10:新5年生】

隣県交流会にてキッズエリートプロジェクトの全活動を終了します。修了証をお渡しします。今後の活躍を期待しています。

#### 【U-9:新4年生】

月1回の定期トレーニングを行っていきます。4月からはカテゴリーも上がり、U-10として活動します。3月からは、新たなU-9参加者が入ってきます。手本となれるよう活動していきましょう。

#### ◎県トレセンについて

トレセン制度は、数ある育成システムのうちの一つです。そこで選出された、されなかったからと言って、将来を保証されるものではありませんし、選手として道が閉ざされるわけでもありません。キッズエリートプロジェクト出身の選手たちには、どんな環境でも自分自身を成長させられるような選手になってくれればと期待します。コーチ、スタッフはいつまでも皆を応援しています。